

平成23年度 文部科学省委託・埼玉県教育委員会委嘱  
「栄養教諭を中核とした食育推進事業」

発表テーマ 子どもたちの今を知り、今を変える羽生市の食育  
—できることから始めよう！みんなの食育—

羽生市教育委員会

## 1 はじめに

食育は生涯を通じて豊かに生きるための教育である。食べることの教育を通して子どもが外界と交わり、自分の心と身体をよく知り、自分を大切にし、自己管理のできる子どもを育てることが羽生市教育委員会の目指すところである。食事を大切に思い、自分の健康に配慮して「食」を考えられる子どもになってほしいと願っている。

しかし、現在、食に関する情報が氾濫するなど、食の安全が不安視されている。何を信じ、何を選択していくことがよいのか、判断基準が定まらないまま、食生活を送っている。また、孤食、個食、庫食等々様々な「こ食」が話題となっており、子どもたちの食を巡る環境は多くの課題を抱えている。

羽生市の学校の食育を推進していくうえで、こうした現状や、埼玉県学力学習状況調査、教育に関する3つの達成目標、羽生市独自の児童生徒対象の食に関するアンケートの結果等から考察し、次の3点を課題として設定した。一つ目は「豊かな心をはぐくむこと」二つ目は「健全な体をはぐくむこと」三つ目は「食に関する正しい知識を身につけること」である。これらの課題を解決していくために、2つのテーマを設定した。

### テーマ1

栄養教諭が中核となった各教科等における「食」に関する指導の在り方

#### 主な取組

- ・ 授業研究会（家庭科）
- ・ 食育をテーマにした学校保健委員会
- ・ わくわくモーモースクール
- ・ ミルク教室・おなか教室
- ・ 学校ファームの推進

### テーマ2

栄養教諭を中心とした学校・家庭・地域社会と共同調理場の連携による食に関する指導の取組

#### 主な取組

- ・ 食育だよりの発行
- ・ 親子で取り組む食育標語
- ・ 地域生産者との給食試食会
- ・ 地域社会に向けての給食試食会

研究の基盤＝食に関するアンケートの集計・考察、給食残食量調査

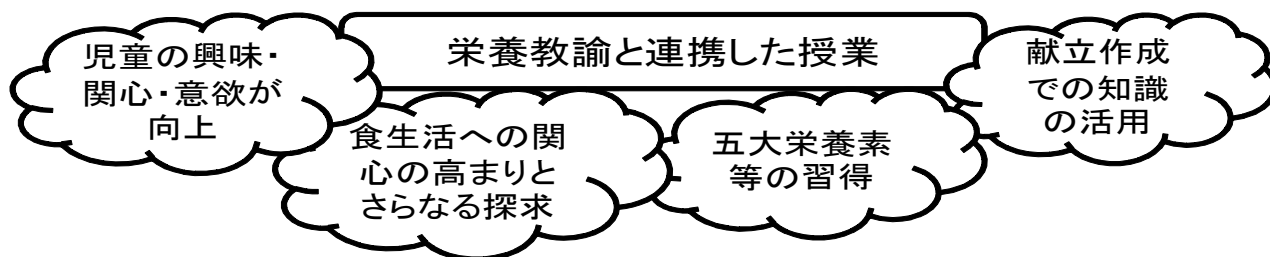
## 2 取組

### (1) 家庭科授業研究会

「楽しい食事を工夫しよう」

～わが家の健康アップメニュー～

- ・ 栄養教諭と教科担任とのTT、グループ活動による授業形態の工夫
- ・ 自分が立てた1食分の食事の栄養的なバランスを確かめ、見直すことができる授業の創造
- ・ 「誰でもつくれる朝ごはんメニュー集」の活用（埼玉県教育委員会発行）



### (2) 連携による学校ファームの推進

#### ①羽生ふじ高等学園と東中学校との異校種連携交流

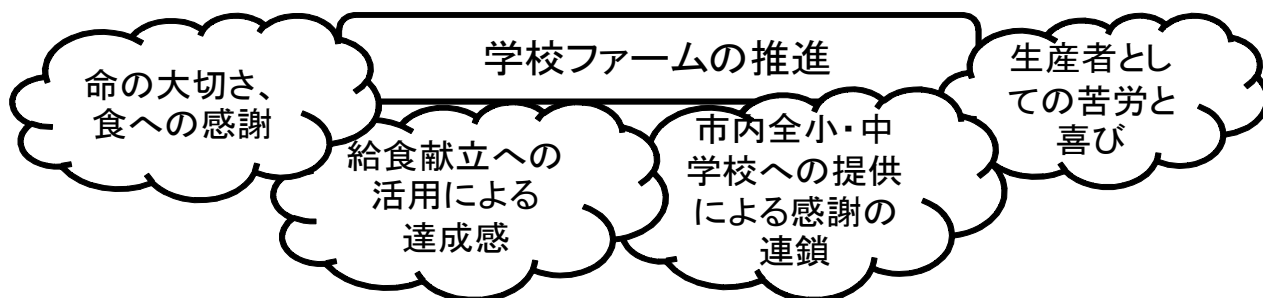


- ・ 東中学校の大根作りを羽生ふじ高等学園の生徒、教諭がサポート
- ・ ふじ高等学園の稲刈りに東中学校生徒が参加



#### ②給食センターとの連携

- ・ 育てた大根を収穫し、給食センターへ出荷
- ・ 収穫、洗浄、葉落とし、納入の流れを学習



## 3 おわりに

今年度、様々な取組を通して、生涯にわたる健康の礎となる食育にはゴールがなく、継続的な啓発が必要であると再認識した。本研究において、羽生市全体が食の重要性を見直し、その活動の第一歩を踏み出すことができた。今年度取り組んだ成果と課題を踏まえ、来年度以降も充実発展させていくことが、羽生市の食育を一層充実させていくことにつながると思う。